



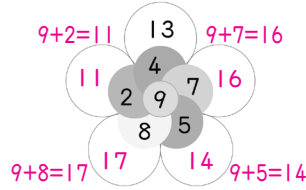
こたえが 10より おおきく なる
たしざんだよ。まず、10を つくる
ことを かんがえて やって いこう。

ひろ
せんせい

1 たしざんを しましょう。

- ① $8+4=12$ ② $7+6=13$
●「=」はかならず書くようにさせましょう。
- ③ $2+9=11$ ④ $5+8=13$
- ⑤ $6+9=15$ ⑥ $4+7=11$
- ⑦ $9+3=12$ ⑧ $8+9=17$
- ⑨ $6+6=12$ ⑩ $3+8=11$

2 まんなかの かずに、まわりの かずを たししましょう。

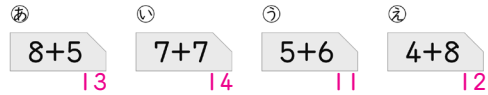


しきに かいて みると
わかりやすくなるよ。



テンテン

3 けいさんして、こたえの おおきい じゆんに
きごうを かきましょう。



(い) → (あ) → (え) → (う)

4 あおい ふうせんが 6こ、みどりの ふうせんが
8こ あります。
ふうせんは ぜんぶで なんこ あるでしょう。

(しき) $6+8=14$

●あわせた数だから、たし算を
使って求めます。

こたえ (14こ)

ほめどころを
アドバイス!!

子どもの目線で、まるつけワンポイント

ちょっとつまずいていたら

くり上がりのあるたし算の復習です。指を使ったり、数えたしをしたりしないで、反射的に答えられるようになっていっているでしょうか。

計算の間違いがあったら

- 間違いのあった式を書き出してみます。
例えば、①では $4+7$ 、②では $9+7$ が間違っていたら、7をたすたし算を重点的におさらいしてみよう。
- どうしても指を使ってしまうときは、下のよう
に補助数字を書かせましょう。

$8+4=12$ $8+4=12$
2 2 2 6

10を作るん
だったね。

お子さんの考えやすいほうで
いいですよ。



よくできていたら

答えから式を考える問題をやってみましょう。

くり上がりのあるたし算もよく
できたわね。では、ちょっと
むずかしい問題。答えが11に
なるたし算の式は？

$5+6=11$

ピンポン。でもまだ
ほかにも
式はあるよ。



あつ、
 $7+4$ も
そうだ!

このようにやり方を変えると、また新しい
気分が復習ができますね。



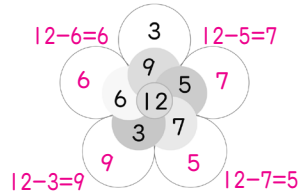
10より おおきい かずから ひく
ひきざんだよ。10いくつを 10と
いくつに わけて かんがえよう。

ひろ
せんせい

1 ひきざんを しましょう。

- ① $12-8=4$ ② $14-6=8$
●「=」はかならず書くようにさせましょう。
- ③ $13-5=8$ ④ $11-3=8$
- ⑤ $15-9=6$ ⑥ $16-7=9$
- ⑦ $12-4=8$ ⑧ $14-8=6$
- ⑨ $11-6=5$ ⑩ $13-7=6$

2 まんなかの かずから、まわりの かずを ひきましょう。



おちついて やれば
だいじょうぶだよ。



テンテン

3 けいさんして、こたえの ちいさい じゅんに
きごうを かきましょう。

あ	い	う	え
$16-9$	$13-8$	$11-7$	$17-9$
7	5	4	8

(う) → (い) → (あ) → (え)

4 たまごが 11こ ありましたが、ケーキを つくるのに
5こ つかいました。
のこりは なんこに なったでしょう。

(しき) $11-5=6$

●残りの数だから、ひき算を
使って求めます。

こたえ (6こ)

ほめどころを
アドバイス!!

子どもの目線で、まるつけワンポイント

ちょっとつまずいていたら

くり下がりのあるひき算の復習です。1年生の算数で最もつまずきやすいと言われるところ。できるだけ、反射的に答えが出るようにしたいですね。

計算の間違いがあったら

もう一度、補助数字を書き、唱えながら計算させて、やり方を思い出させます。

$12-8$ 	<p>12を 10と2に 分けて $10-8=2$ $2+2=4$</p>	$12-8$ 	<p>8を 2と6に 分けて $12-2=10$ $10-6=4$</p>
------------	---	------------	---

どちらでも、考えやすいほうでいいですよ。



声に出しながらやると、間違えないね。

よくできていたら

スピードアップに挑戦してみましょう。
カードを使うのがいちばんいいでしょう。

- くり下がりのあるひき算のカードを10枚用意します。
- 何秒で計算できるか、タイムを計ります。



$17-9=8$
 $12-7=5$
 ...
 おわり!

今日のタイムは
17秒。今までの
最高よ。
すごい!



やったあ!
もっと速く
なりたいな。